

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第90期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社三條機械製作所
【英訳名】	SANJO MACHINE WORKS, LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 村田 哲夫
【本店の所在の場所】	新潟県三条市猪子場新田1300番地
【電話番号】	(0256) 45 - 3131 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役本社経理部長 西巻 俊雄
【最寄りの連絡場所】	新潟県三条市猪子場新田1300番地
【電話番号】	(0256) 45 - 3131 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役本社経理部長 西巻 俊雄
【縦覧に供する場所】	株式会社三條機械製作所 東京支店 (東京都千代田区神田須田町2丁目11番地) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第2四半期 連結累計期間	第90期 第2四半期 連結累計期間	第89期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	5,341,568	5,364,502	10,736,641
経常利益(千円)	199,219	191,150	398,014
四半期(当期)純利益(千円)	117,649	125,575	224,304
四半期包括利益又は包括利益(千円)	20,752	21,617	146,312
純資産額(千円)	11,170,181	11,199,825	11,295,400
総資産額(千円)	14,902,962	15,165,287	15,242,983
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	7.88	8.41	15.02
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	73.10	72.21	72.28
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	572,449	85,192	1,399,083
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	120,752	191,262	370,005
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	52,722	52,699	53,247
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	4,075,728	4,488,538	4,645,924

回次	第89期 第2四半期 連結会計期間	第90期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	6.09	4.35

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第89期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による深刻な影響も、被災地における復旧の動きに伴い、企業の生産活動は回復傾向で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループの業況を申し上げますと、主要な取引先である自動車業界向けの鍛工品事業は、サプライチェーンの復旧に伴い、需要は回復基調で推移しておりますが、第1四半期における自動車メーカーの減産影響により減収となりました。一般機械及び金型の両事業では前年同期の需要低迷の反動もあり、また、客先からの震災復旧需要等により増収となりましたので、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,364百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

収益面では主要製品である鍛工品事業は減収により減益となりましたが、一般機械及び金型の両事業の増収を反映し、営業利益は134百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。経常利益は不動産賃貸料等の計上により191百万円（前年同四半期比4.1%減）となり、四半期純利益は当社及び一部の国内子会社において雇用調整助成金を、また、連結子会社株式の追加取得を行った事による負ののれん発生益を特別利益に計上いたしましたので125百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

鍛工品

鍛工品は、震災影響による急激な需要低下も、サプライチェーンの復旧が進むにつれ、受注は回復傾向で推移いたしました。売上高は3,097百万円（前年同四半期比15.4%減）となり、営業利益は84百万円（前年同四半期比71.7%減）の計上となりました。

一般機械

一般機械は、ラベル印刷機械は前年度からラベル印刷需要に下げ止まりや回復の兆しが見えはじめ、高品質、低価格の当社製品への顧客の設備更新の動きは、当第2四半期連結累計期間においても継続が見られ、堅調な受注ができましたので増収となりました。たばこ製造用機械並びに同装置は、前年同期の需要一巡による低迷の反動もあり、また、震災復旧需要もあり増収となりました。専用機も同様に増収となりました。一般機械全体では売上高1,603百万円（前年同四半期比25.6%増）となり、営業利益は増収影響により108百万円（前年同四半期は営業利益7百万円）となりました。

金型

自動車業界向けのダイカスト金型は、客先からの震災復旧需要と売上確保の取り組みにより増収となりました。ロータリーダイにつきましても、景気低迷の影響を受け低迷が続いておりました需要に、医薬品業界を中心に動きが見られ、受注を伸ばしましたので増収となりました。金型全体では売上高661百万円（前年同四半期比70.0%増）となり、営業損失23百万円（前年同四半期は営業損失170百万円）となりました。

その他

石油類販売等は売上高86百万円（前年同四半期比0.2%増）と前年同期並みとなりましたが経費削減により営業利益は5百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。

なお、セグメントの業績はセグメント間の内部売上高又は振替高は消去前であります。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は9,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が161百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ250百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が250百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、15,165百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が145百万円減少したものの、未払消費税等のその他が145百万円、賞与引当金が18百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が28百万円減少したものの、退職給付引当金が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は11,199百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が80百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が153百万円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、4,488百万円となり前連結会計年度末に比べ157百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は85百万円となりました。これは主に法人税等の支払額が240百万円、たな卸資産の増加額が208百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益の計上が237百万円、減価償却費が229百万円あったことによるものであります。営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期連結累計期間に比べ487百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は191百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出99百万円、定期預金の預入による支出(純額)86百万円によるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期連結累計期間に比べ70百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は52百万円となりました。これは主に配当金の支払額44百万円によるものであります。財務活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期連結累計期間に比べ0百万円支出が減少いたしました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、21百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	57,200,000
計	57,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	15,058,152	15,058,152	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	15,058,152	15,058,152	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	15,058,152	-	1,525,309	-	1,149,173

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LIMITED (常任代理人 シティバンク銀行 株式会社)	P.O. BOX 309, UGLAND HOUSE, GRAND CAYMAN, CAYMAN ISLANDS, KY1-1104 (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	2,859	18.99
ニューロング株式会社	東京都台東区東上野6丁目4番14号	1,162	7.72
株式会社北越銀行	新潟県長岡市大手通2丁目2番地14	733	4.87
三條機械製作所従業員持株会	新潟県三条市猪子場新田1300番地	640	4.25
東芝機械株式会社	東京都千代田区内幸町2丁目2番2号	625	4.15
本田技研工業株式会社	東京都港区南青山2丁目1番1号	572	3.80
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重州1丁目2番1号	464	3.08
ニューロング工業株式会社	東京都葛飾区白鳥4丁目8番14号	303	2.02
株式会社松縄文五郎商店	新潟県三条市須戸新田1196番地1	300	1.99
CBHK-THE SFP VALUE REALIZAT ION MASTER FUND LTD (常任代理人 シティバンク銀行 株式会社)	10/F, TWO HARBOURFRONT, 22 TAK FUNG ST., KOWLOON, HONG KONG . (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	294	1.95
計	-	7,955	52.83

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 124,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,695,000	14,695	-
単元未満株式	普通株式 239,152	-	-
発行済株式総数	15,058,152	-	-
総株主の議決権	-	14,695	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社三條機械製作所	新潟県三条市猪子場新田1300番地	124,000	-	124,000	0.82
計	-	124,000	-	124,000	0.82

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、高志監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,794,602	4,724,373
受取手形及び売掛金	2,384,332	2,417,917
有価証券	239,559	239,652
商品及び製品	216,166	194,574
仕掛品	1,204,445	1,273,569
原材料及び貯蔵品	356,906	518,598
繰延税金資産	139,212	133,590
その他	173,773	179,489
貸倒引当金	65,294	65,489
流動資産合計	9,443,702	9,616,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	723,255	695,259
機械装置及び運搬具(純額)	1,141,474	1,082,607
工具、器具及び備品(純額)	103,746	113,509
土地	1,277,389	1,277,389
建設仮勘定	49,876	50,237
有形固定資産合計	3,295,742	3,219,003
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,253,913	1,002,986
賃貸用不動産(純額)	991,478	984,534
繰延税金資産	204,450	288,455
その他	11,107	11,423
貸倒引当金	2,372	2,372
投資その他の資産合計	2,458,576	2,285,027
固定資産合計	5,799,280	5,549,009
資産合計	15,242,983	15,165,287

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027,046	2,012,362
未払法人税等	240,538	94,559
賞与引当金	164,429	182,730
受注損失引当金	95,700	110,153
その他	232,790	378,109
流動負債合計	2,760,504	2,777,915
固定負債		
退職給付引当金	886,831	916,274
役員退職慰労引当金	111,686	82,763
環境対策引当金	9,000	9,000
受入保証金	122,027	121,857
資産除去債務	57,145	57,332
その他	388	320
固定負債合計	1,187,078	1,187,547
負債合計	3,947,583	3,965,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,525,309	1,525,309
資本剰余金	1,149,173	1,149,173
利益剰余金	7,875,232	7,956,003
自己株式	38,924	39,170
株主資本合計	10,510,790	10,591,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	537,468	383,903
為替換算調整勘定	30,283	24,914
その他の包括利益累計額合計	507,185	358,989
少数株主持分	277,424	249,520
純資産合計	11,295,400	11,199,825
負債純資産合計	15,242,983	15,165,287

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,341,568	5,364,502
売上原価	4,666,439	4,647,740
売上総利益	675,129	716,761
販売費及び一般管理費	554,195	582,493
営業利益	120,934	134,267
営業外収益		
受取利息	3,430	1,514
受取配当金	10,457	13,676
不動産賃貸料	101,367	103,755
その他	18,240	9,379
営業外収益合計	133,495	128,326
営業外費用		
不動産賃貸費用	50,354	58,101
その他	4,856	13,342
営業外費用合計	55,210	71,444
経常利益	199,219	191,150
特別利益		
貸倒引当金戻入額	101	-
補助金収入	76,257	33,086
負ののれん発生益	-	19,438
その他	1,215	-
特別利益合計	77,574	52,525
特別損失		
固定資産除却損	3,346	2,352
投資有価証券評価損	-	3,873
環境対策引当金繰入額	9,000	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	48,708	-
特別損失合計	61,054	6,226
税金等調整前四半期純利益	215,738	237,449
法人税等	86,723	112,474
少数株主損益調整前四半期純利益	129,015	124,974
少数株主利益又は少数株主損失()	11,365	600
四半期純利益	117,649	125,575

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	129,015	124,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,667	153,564
為替換算調整勘定	21,595	6,972
その他の包括利益合計	108,262	146,592
四半期包括利益	20,752	21,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,353	22,620
少数株主に係る四半期包括利益	6,399	1,002

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	215,738	237,449
減価償却費	243,091	229,702
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	6,200	28,923
退職給付引当金の増減額(は減少)	27,079	29,442
賞与引当金の増減額(は減少)	13,711	18,247
受注損失引当金の増減額(は減少)	68,500	14,453
貸倒引当金の増減額(は減少)	160	194
受取利息及び受取配当金	13,888	15,191
固定資産除却損	3,346	2,352
投資有価証券評価損益(は益)	-	3,873
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	48,708	-
売上債権の増減額(は増加)	23,560	30,389
たな卸資産の増減額(は増加)	280,887	208,329
仕入債務の増減額(は減少)	218,440	5,456
その他の資産の増減額(は増加)	32,073	16,538
その他の負債の増減額(は減少)	45,487	35,468
小計	604,201	310,345
利息及び配当金の受取額	13,866	15,183
法人税等の支払額	45,618	240,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,449	85,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	215,065	288,133
定期預金の払戻による収入	242,024	201,485
有価証券の取得による支出	12,990	12,996
有価証券の償還による収入	13,000	13,000
有形固定資産の取得による支出	149,530	99,975
賃貸用不動産の取得による支出	2,838	143
投資有価証券の取得による支出	2,220	2,377
その他	6,869	2,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	120,752	191,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	558	246
配当金の支払額	44,544	44,534
少数株主への配当金の支払額	7,619	7,918
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,722	52,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,314	1,383
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	393,659	157,386
現金及び現金同等物の期首残高	3,682,069	4,645,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,075,728	4,488,538

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
荷造発送運賃	178,456千円	164,318千円
給料	154,192	149,441
賞与引当金繰入額	20,064	26,007
退職給付費用	13,202	16,940
役員退職慰労引当金繰入額	6,700	20,737

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	4,252,094千円	4,724,373千円
公社債投資信託	213,479	213,658
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	389,845	449,493
現金及び現金同等物	4,075,728	4,488,538

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	44,819	3	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	44,803	3	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鍛工品	一般機械	金型	その他			
売上高							
外部顧客への 売上高	3,661,488	1,259,437	389,220	31,422	5,341,568	-	5,341,568
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	160	16,621	14	54,935	71,731	71,731	-
計	3,661,648	1,276,058	389,234	86,358	5,413,300	71,731	5,341,568
セグメント利益 又は損失()	297,964	7,673	170,330	4,382	139,689	18,755	120,934

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 18,755千円には、セグメント間取引消去 2,393千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 16,361千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鍛工品	一般機械	金型	その他			
売上高							
外部顧客への 売上高	3,097,771	1,572,417	661,802	32,510	5,364,502	-	5,364,502
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	80	30,708	-	53,979	84,767	84,767	-
計	3,097,851	1,603,126	661,802	86,489	5,449,270	84,767	5,364,502
セグメント利益 又は損失()	84,256	108,338	23,823	5,158	173,929	39,661	134,267

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 39,661千円には、セグメント間取引消去 4,054千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 35,607千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円88銭	8円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	117,649	125,575
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	117,649	125,575
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,938	14,933

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月8日

株式会社三條機械製作所
取締役会 御中

高志監査法人

指定社員 公認会計士 阿部 和人
業務執行社員

指定社員 公認会計士 片岡 俊員
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社三條機械製作所の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社三條機械製作所及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。